

安保破棄ニュース

No. 553
2023. 5. 19

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

「戦争国家」づくりを 阻止しよう!

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会 総会(幹事会)開催

保条約など、日本の安全保障に関する文書。岸田政権が日本を、どのような国にしようとしているのか。いわゆる、日本の「国づくり」にかかわる重要な内容を持つ文書」であるということを描き、そのように重要な文書でありながら、世論調査の結果では、7割の人が「知らない」と答えているという現状を示し、「改めて、この文書を読んでつまびらかにすることが大事」と話されました。

安保破棄中央実行委員会が2月に発行した、安保がわかるブックレット②「岸田大軍拡と『戦争国家』づくり―政府の新『安保3文書』を斬る」の内容を紹介しながら、この文書の示している3つの危険。

1つ目は敵基地攻撃能力を保有するということを宣言し、いわば戦争が起ころうということを示しているということ。2つ目は、これを進めるために、5年間で総額43兆円という大軍拡を行うということ。3つ目は、この大軍拡を支えるためには、国民の年金や福祉や暮らしの予算を切り詰め、軍事優先で防衛力強化につぎ込む。

さらには、2024年度以降は大増税もする。ということに関して話されました。

また、今後どのようにすべきかということに関しては、平和外交で「戦争を起ささない」世論と運動を、ということ、中国との友好関係を深め、お互い「脅威」となる行動はやめる。「台湾有事」を煽るようなことはしない。北朝鮮に関しては、まずは外交ルートを確認することが必要。と話されました。

さらに、現在の日本の外交は、プロである外務省によってではなく、官邸主導の素人外交がなされていることの問題にも触れられました。

最後に「憲法9条の平和の外交を語り訴えていく活動を是非お願いしたい」と締めくくられました。

講演後、運動方針の提案を山事務局長が行いました。その後、

二人の方から発言がありました。

代表幹事の植田保二さんからは、4月に石垣島へ1週間行ってこられたとこの報告がなされ、現地の状況や、地元の人たちとの交流などの話がリアルに語られました。

植田さんは、今回で代表幹事を退任されるので、閉会時にもあいさつをしていただき、その中では、大阪安保にかかわるようになった流れや、沖縄における選挙活動での様々なエピソードなどを話されました。

個人幹事の上田英子さんからは、「現地へ行くツアーを是非具体化してほしい。とりわけ、今、運動の最前線である、石垣島・与那国島・宮古島へ行くツアーを」という要望が出されました。加えて、「大阪でも八尾や信太山にある自衛隊基地強化の動きなどがあり、これらが日本中の問題なんだということ、安保など関係したところが中心となって、どう発信していくかということが、いま、大きな課題になっているのではないか」という発言がなされました。



写真を示しながら講演する小泉親司さん

5月13日(土)の午後2時から、大阪民医連の会議室で、安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会の2023年総会(幹事会)を開催しました。

前半には、昨年末に岸田内閣が閣議決定した「安保3文書」に関してしつかり学び、これからの運動を考えていこうと、安保破棄中央実行委員会常任幹事であり、日本共産党基地対策委員会責任者である、小泉親司さんから、「岸田大軍拡と戦争国家づくりを許さない国民大運動を」をテーマに、講演をしていただきました。

小泉さんからは、まず、「昨年、安保3文書が出され、今年からあと5年ぐらいかけては、安保破棄実行委員会の出番となる。」

日米安保条約廃棄、日米地位協定改定をめざして、全国と大阪が、しつかりと手を結んで運動を盛り上げていきたい。」と、これからの安保破棄実行委員会の役割の重要性を訴えられました。

講演の趣旨として、「今、日本の政治の中で何が起きているのかと、これを打開するためにどういうことが必要なのかという点について触れさせてもらいたい」と話され、安保3文書とは、「日米安



植田保二さん



上田英子さん

平和と人権をわが手に

2012年12月以来すでに10年以上、安倍、菅、岸田と続く、これ程、国民の声に耳を傾けることのない、欺瞞に満ちた、そしてこれ程、平和と人権を蔑ろにする政権があったでしょうか。

その総決算とも言える、「戦争する国」づくりを具体的に推し進めようとする法案の成立が、会期末を迎える通常国会の中で次々と強行されようとしており、まさに今、私たち国民は「戦争」か「平和」かの岐路に立たされています。

岸田政権は、維新の会や国民民主と共に、「戦争する国づくりのための大軍拡予算」と言うべき23年度予算を3月28日に押し通し、その大軍拡を裏付けるための「防衛財源確保法案」、「防衛産業支援法案」（「防衛装備移転三原則」の見直しとセット）を成立させ、さらには、価値観を共有する同志国の軍を直接支援するための「経済安全保障能力強化支援」創設なども行おうとしています。

しかし、そもそも、この大軍拡の元となる「国家安全保障戦略」において、「戦後の我が国の安全保障戦略を実践面から大きく転換する」と言いながら、「専守防衛の考え方を変更するものではない」と大ウソをついて保有する「敵基地攻撃」を行使。南西諸島をはじめ、日本全土が戦場化されかねません。

また、5月19日から広島で開催されているG7サミットにおいて「核兵器のない世界」をめざすと言いつつ、実際には、1月の2+2において「米国の拡大抑止は日本の能力によって強化される」

と明言し、5月7日の日韓首脳会談では、サミット中に広島で日米韓首脳会談を開き、核抑止である「拡大抑止」の強化を話し合うことを確認しています。

こんな、平気で大ウソをつく岸田政権が、一方で進めようとしているのが入国管理法改悪、マイナンバー法等改定、さらには原発推進等5法案など、人々が安心・安全に生活する権利・人権を蔑ろにすることにつながる法改悪の数々です。

平和と人権を何よりも蔑ろにする「戦争」へと突き進もうとする岸田政権にストップをかけ、「二度と戦争はしない」「平和的生存権を確立する」と高らかに掲げ世界の信頼を得た日本国憲法・9条を持つ国・日本を、私たち国民の手に取り戻すため、ともにがんばりましょう。

節目の日(6・23) 宣伝行動 及び 学習と交流の集い

1960年6月23日に、現行の日米安保条約が、多くの国民の反対の声を無視して発効されました。このことに抗議の意味を示し続けるため、毎月23日を中心として宣伝行動を行ってきました。

その節目となる6月23日の宣伝行動を、1日ずらして24日の土曜日に大きく行います。

昼に、大阪の中で沖繩と関係が深い大正区を中心にキャラバン宣伝を行います。

夜は18時開場で、「学習と交流のつどい」を、国労大阪会館3階大会議室において開催します。

石垣島現地とオンラインでつないで、「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」事務局長の藤井幸子さんにお話していただきます。

詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせいたしますので、是非ご参加ください。

諸団体の取り組み、当面の予定など

- 5月
23日(金) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
24日(水) 近畿安保合同会議 14:00～
27日(土) 大阪憲法会議・共同センター「春の憲法大学習会」
天王寺区民センター
- 6月
10日(土) 辺野古・与那国島・石垣島のたたかいと連帯する
現地行動ツアー
安保破棄中央実行委員会主催(～12日)
17日(土) 大阪母親大会
21日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
24日(土) 大阪安保節目の日(6・23) 宣伝行動
「学習・交流のつどい」 18:00 開場 国労大阪会館
29日(木) 近畿安保合同連続オンライン学習会 18:30～
- 7月
19日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
20日(木) 近畿安保合同沖繩連帯ツアー (～23日)
24日(月) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

学習用パンフレット

「島々を戦場にさせない」 新発売

奄美大島、宮古島、石垣島にミサイルが配備され、与那国島へも新たにミサイル配備が浮上する中、「ミサイル攻撃の拠点」は同時に相手からの「標的」となり戦場化すると懸念が高まっています。石垣市議会や沖繩県議会で、戦場化につながるミサイル配備をやめ、平和的外交努力を求める意見書が採択されるなど、運動が高まっています。

「安保3文書」にもとづく「戦争国家」づくりと南西諸島の戦場化問題を学び、運動を広げましょう。

1部 100円です。(10分以上注文で送料無料、100部以上注文で、1部80円に割引)

お申し込みは、
あけぼの印刷

TEL 098-861-9145 FAX 098-861-9148

E-mailakebono2@ii-okinawa.ne.jp

注文者お名前、注文部数、送付先住所、電話番号を記載の上、ファックスかメールでご注文ください。